

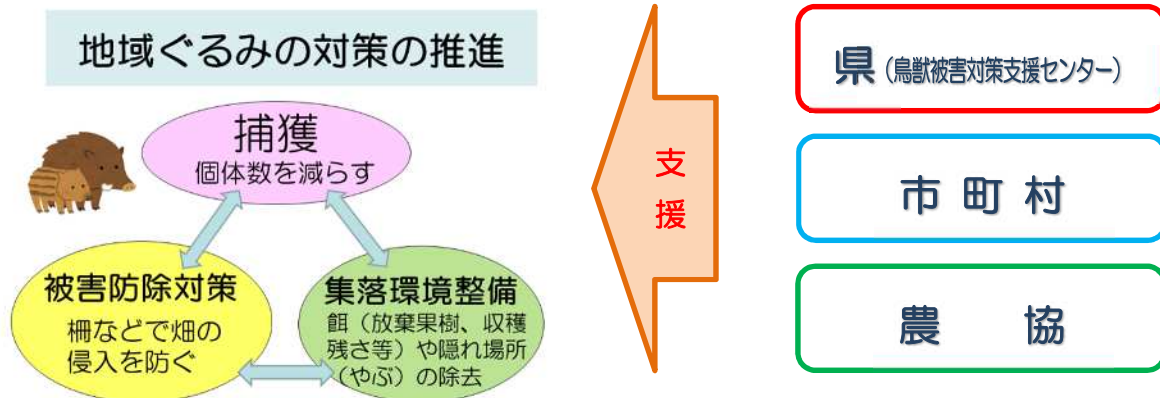


### 3 鳥獣被害対策のポイント

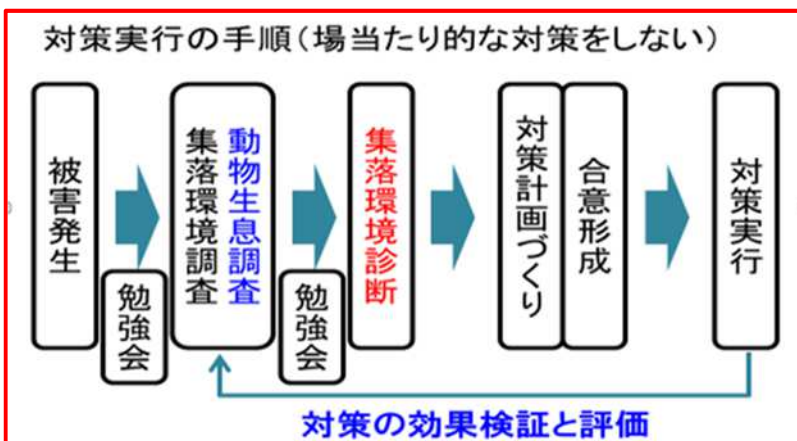
#### ○対策のポイント

鳥獣被害対策は、集落環境整備、被害防除対策、鳥獣の捕獲の3つの基本対策を地域が一体となって取り組む「地域ぐるみの対策」が効果的であることが明らかになっています。

県でもこの「地域ぐるみの対策」を広げていくため、市町村、農協、地域の方々と連携しながら効果的な対策の提案、技術支援、効果検証の支援を行っています。



#### ○ある地区での「地域ぐるみの対策」の取組み事例



田畑の周辺にひそみ場が・・・



刈払い、間伐で見通し良く！

#### <地域の課題>

- ・山際の田畑でのイノシシの被害が顕著である。
- ・田畑の周辺に野生鳥獣のひそみ場になるヤブ、竹林がある。
- ・田畑へ野生鳥獣を寄せ付けてしまう放棄果樹（エサ）がある。
- ・電気柵から農作物がはみ出てしまっている。

#### <取組内容>

- ・ヤブの刈払い、竹林の間伐により田畑周辺の見通しを良くし、ひそみ場をなくした。
- ・果樹を管理しやすい高さに剪定し、放棄果樹をなくした。
- ・電気柵の外に果実が出ないように、果樹の剪定、電気柵の設置を行った。

#### <成果・今後の課題>

- ・ヤブの刈払い、電気柵の設置を行った田畑では被害がなかった。
- ・対策を知らない方が多い。個人の取組みだけでなく、地域ぐるみでの取組みに繋げていく。